

NEWSLETTER

No. 85

9 January 2024

・2023年地理学教室の行事記録	・・・・・・1
・第20回地理ワークショップの開催	・・・・・・2
・2023年度地理実習の記録	・・・・・・3
・卒業論文公開口頭試験について	・・・・・・10
・2023年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・・・・11
・地理学教室が発信する各種情報のQRコード	・・・・・・14

【2023年 地理学教室の行事記録】

2月 7日～ 9日	卒業論文公開口頭試験（10号館 10329, 10212 教室）
3月 29日～30日	在学生ガイダンス
4月 7日～ 9日	新入生オリエンテーション
5月 20日	地理学野外実習 D（佐々木コース：板橋～王子～上野）
5月 24日～25日	地理学野外実習 A（1年生実習：日帰り2日：専任教員6名）川崎市麻生区黒川地区
5月 27日	地理学野外実習 D（桐越コース：高田馬場・新大久保周辺）
6月 3日	地理学野外実習 D（長谷川コース：多摩川両岸周辺）
6月 17日	国土館大学地理学会 総会・講演会・懇親会 ＜総会＞世田谷校舎 10号館 3階 10329（講演会も同） ＜講演会＞伊藤達也先生（法政大学教授）：「カッパの地理学」 ＜懇親会＞世田谷校舎 1号館 1階学生ホール
6月 24日	地理学野外実習 D（加藤コース：東京都品川区とその周辺）
7月 21日	卒業論文公開口頭試験（9月卒業向け；10号館 10215 教室）
7月 22日	第20回地理ワークショップ 「アルプスの少女ハイジはどのように暮らしている？—スイスのプラタモリの考察—」 （講師：佐々木明彦先生，加藤幸治先生）
8月 29日～9月 2日	測量実習3（集中：村上真幸先生）
9月 27日～28日	地理学野外実習 B（2年生実習：1泊2日：専任教員6名） 長谷川：神奈川県三浦市・横須賀市 内田：千葉県南房総市・いすみ市・大多喜町 磯谷：長野県蓼科方面 加藤：東京都武蔵野市 佐々木：群馬県みなかみ町 桐越：群馬県大泉町
10月 21日	地理学野外実習 D（磯谷コース：城ヶ島）
10月 25日～28日	地理学野外実習 C（3年生実習：3泊4日：専任教員） 長谷川：新潟県佐渡市 内田：岡山県岡山市とその周辺 磯谷：静岡県南伊豆町とその周辺 加藤：群馬県安中市とその周辺 佐々木：沖縄県宮古島 桐越：大阪府柏原市とその周辺
11月 18日	地理学野外実習 D（内田コース：神奈川県伊勢原市大山地区）
12月 23日	国土館大学地理学会 研究発表会・講演会・懇親会（10号館 10319, 1号館地下食堂） ＜研究発表会＞ 藤本周吾・小口太陽・芹澤誠一／富田剛史／式見彩夏／坂本大貴／ 石井陸登・小林大将・辻本柚衣・宮原竣亮・横山大輝／上野裕一郎 ＜講演会（長谷川均教授退職記念講演会）＞ 長谷川均 先生（本学教授） 「サンゴ礁のリモートセンシング—グーグルアースで見えない世界—」

【第20回 地理ワークショップの開催】

「スイス地誌：アルプスの少女ハイジはどのように暮らしている？－スイスのプラタモリの考察－」

国士舘大学地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、2001年度より「地理ワークショップ」を開催しています。新型コロナウイルスが猛威をふるったため2020年度から開催をとり止めていましたが、今年度は7月22日（土）に3年ぶりとなる第20回地理ワークショップをMCH 5階 第1会議室において開催しました。

テーマはスイス地誌としました。スイスを中心に、ヨーロッパアルプス地域の自然環境と人間の暮らしの関係を「プラタモリ」的に捉えてみました。学問的厳密さよりも地域を地誌学的視点から捉える「おもしろさ」を強調したいと考えたからです。そのため、ワークショップのタイトルを『アルプスの少女ハイジはどのように暮らしている？－スイスのプラタモリの考察－』として参加の案内をしました。

参加者は28名で、関東圏のみならず関西からの参加者もおりました。午前中はアルプスの自然環境の成り立ちについての講義を行いました。地図を用いる授業への情報提供を意識して地理院地図やスイスの地形図閲覧サイトの紹介も行い、休憩時間にはスイスの地形図の展示も行いました。午後はアルプスの少女ハイジの舞台となったスイスのアルムとドイツ・フランクフルトとの対照からスイスの自然条件がもたらす低生産性というかつての出稼ぎ労働の背景を講義しました。そのうえで、自由な労働力と豊富な水力のもと、産業革命を経たスイスにおいて繊維工業や化学工業、機械工業が発展したことを理解しました。講義をふまえた討論も活発に行われ、充実したワークショップになったのではないかと思います。（佐々木 明彦）

◎2023年7月22日（土） 9:50～16:10

開会の言葉・趣旨説明 佐々木 明彦
講演1 「アルプスの山はなぜ高いか？」 佐々木 明彦
講演2 「スイスはなぜスキーリゾートなのか？」 佐々木 明彦
午前中のまとめ
講演3 「ハイジはなぜフランクフルトに行ったのか？」 加藤 幸治
講演4 「スイスの『大逆転』はどうして可能になった？」 加藤 幸治
質疑・討論
まとめ・閉会の言葉 加藤 幸治



「講演4」の様子

【2023 年度地理実習の記録】

地理学野外実習 A : 5 月 24 日 (水) ・ 25 日 (木) に日帰りにて実施

◎長谷川・内田・磯谷・加藤・佐々木・桐越

実施地：川崎市麻生区黒川地区・多摩キャンパス

参加学生数 75 名 (男子 60 名, 女子 15 名)

テーマ：丘陵地の自然環境と人間生活

目的：多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い、地形と土地利用の関係、都市化や宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて、地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課題：図表を含めて 400 字詰め原稿 15 枚以上相当のレポート。

提出日時・・・7 月 4 日 (火)「地理学入門ゼミ」講義時間中に提出。



写真 1 初日：小田急線黒川駅前に集合



写真 2 班ごとに土地利用調査を行います



写真 3 午後には多摩校舎にて初日のまとめ



写真 4 二日目の調査開始！ 再び黒川駅より



写真 5 班ごとの土地利用調査が続きます



写真 6 再び多摩校舎に集まりまとめを行いました

地理学野外実習B（2年生対象）：9月27日（水）～28日（木）実施

◎長谷川

実施地：神奈川県三浦市 三浦半島南部と城ヶ島

参加学生数：11名（男子7名，女子3名）

テーマ：海岸段丘，砂浜海岸や岩石海岸の
特徴的な地形を学ぶ。

- 内容：①：海岸段丘や段丘を刻む谷地形の観察
②：砂浜海岸に見られるカスプの観察と計測
③：岩石海岸と離水ベンチの観察。
④：海食洞の成因
⑤：タフォニの観察と計測
⑥：クリノメータ，ハンドレベル使い方と簡易計測
⑦：地層の観察方法

以上の内容を通じて，地形・地質の基礎的な観察方法を学んだ。

課題：調査結果をもとに，A4版20枚程度のレポートを作成する。



長谷川班：離水波食台の褶曲構造の計測

◎内田

実施地：千葉県南房総市，いすみ市，大多喜町

参加学生数：9名（男子7名，女子2名）

テーマ：風景の鑑賞法と観光地の場所イメージの解説

- 内容：①房総半島南部の日帰り観光地を風景論の視点から記述し，その結果を比較する。
②地元の自治体や観光業者が，その場所のイメージをどのように利用しているかを，記号論的な観点から考察する。

課題：レポート1：首都圏の日帰り観光地としての「南房総」と「大多喜」の風景の特徴とその地域性

レポート2：観光地の記号としての「観光イメージ」



内田班：道の駅保田小学校で

◎磯谷

実施地：長野県茅野市の蓼科高原～縞枯山

参加学生数：5名（男子5名）

テーマ：山地帯～亜高山帯の植生

- 内容：蓼科高原から縞枯山にかけての地域でみられる植生や動物生態の標高に伴う変化について，組成・構造・動態・立地などの視点から調査した。

課題：指示された項目にしたがって，この地域の植生とその全国的な位置づけについて，図表を含めてA4版20枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷班：標高2403mの縞枯山の山頂にて

◎加藤

- 実施地：東京都武蔵野市
参加学生数：8名（男子7名，女子1名）
テーマ：東京都武蔵野市におけるコンビニエンスストアの立地展開
内容：対象地域におけるコンビニエンスストアの立地について，過去のデータのデータと比較しながら，その変遷を把握して，立地の要因を考察する．仮説を立て，それを定量的に立証するようにレポートをまとめる．これらを通じて，経済地理学的な調査の方法・経済地理学の見方・考え方の基礎を学ぶ．
課題：調査結果に関する図表を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする．



◎佐々木

- 実施地：群馬県みなかみ町土合地区（湯檜曾川・一ノ倉沢，天神平）
参加学生数：15名（男子12名，女子3名）
テーマ：多雪山地における地形と植生の観察，谷中の気温の観測
内容：みなかみ町土合地区の湯檜曾川上流部において多雪地域の山地に典型的にみられる雪崩地形と植生景観を観察した．湯檜曾川支流の一ノ倉沢では氷成堆積物や土石流堆積物を観察した．湯檜曾川の谷中5カ所に自記記録式温度計を設置して気温を観測し，夜間から明け方に発生する冷気流を捉えた．
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版20枚程度のレポートにまとめる．



◎桐越

- 実施地：群馬県邑楽郡大泉町
参加学生数：13名（男子6名，女子7名）
テーマ：群馬県邑楽郡大泉町におけるエスニック・ビジネスの現状
内容：群馬県大泉町におけるブラジル系のエスニック・ビジネスの立地や集積の様態を把握することを目的とする，具体的には，関連する先行研究を読んだうえで，2日間を通じてエスニック・ビジネスやその周辺施設の分布調査をおこなう．2日目の調査後に先行研究との比較をおこない，大泉町におけるエスニック・ビジネスの現状についての分析をおこなう．
課題：先行研究と比較するかたちで，調査結果にもとづいた内容をレポートにまとめる．



地理学野外実習C（3年生対象）：10月25日（水）～28日（土）実施

◎長谷川

実施地：新潟県佐渡市

参加学生数：7名（男子7名）

テーマ：海岸段丘の形成過程、ポットホルの成因と計測、津波による防災避難態勢の検証

内容：①：佐渡二見半島に見られる海岸段丘の形成過程などを調査。
②：離水した岩石海岸に見られるポットホール等の観察と計測。
③：旧相川町の津波災害予測と避難経路などの調査。
課題：調査結果をもとに、A4版20～30枚程度のレポートを作成する。



長谷川ゼミ：佐渡島平根崎にてポットホルの計測

◎内田

実施地：岡山県岡山市とその周辺

参加学生数：11名（男子10名，女子1名）

テーマ：学生各自でテーマを設定し，現地調査を行う。

内容：「岡山県の観光地におけるお城のイメージについて」「小豆島発本土行き航路における利用状況と乗船客の評価」「瀬戸内海の近距離航路における利用者動向の特性」「岡山県における観光地のイメージ」「井原鉄道沿線住民の鉄道利用状況について」「ファジアーノ岡山による地域活性化のためのホームタウン活動」「岡山県の伝統食の摂食頻度について」「地域イメージに基づく土産物のパッケージデザインについて」「倉敷市真備町における西日本豪雨災害のその後」「岡山市におけるオタク関連ショップについて」「岡山市内循環バス開業が地域住民に与えた影響」など

課題：各自設定したテーマにしたがって，現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田ゼミ：岡山駅の桃太郎像前で

◎磯谷

実施地：静岡県南伊豆町とその周辺

参加学生数：4名（男子2名，女子2名）

テーマ：伊豆半島南部の生態地理

内容：静岡県南伊豆町付近でみられる動植物の生態地理について，各自が事前にテーマを設定して調査を行った。具体的に選ばれたテーマは，「二次林植生の分布と樹種構成」および「河辺性鳥類の鳥類相および鳥類群集の分布と生態」であった。

課題：図表を含めてA4版30枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷ゼミ：石廊崎のウバメガシ林の前にて

◎加藤

- 実施地：群馬県安中市とその周辺
参加学生数：12名（男子11名，女子1名）
テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。
内容例：旧中山道安中市商店街の変容とその現状，安中市のスーパーの利用客の現状，信越本線各駅前の土地利用の特徴，富岡市の中心商店街の現状，富岡製糸場来訪者の交通手段 他
課題：各自のテーマについて，『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



◎佐々木

- 実施地：沖縄県宮古島市
参加学生数：5名（男子4名，女子1名）
テーマ：宮古島の気候景観の分析，防風林に関する気候学的研究，宮古島で発生する塩害の調査，島内の湧水の水質分析
内容例：宮古島と伊良部島，下地島，池間島をくまなくまわって偏形樹の調査を行い，卓越風の方角と強度を明らかにした。卓越風がとくに強い宮古島北部にみられる防風林の周辺において，実際に風速を観測して防風林による風速の減衰効果を明らかにした。島内の湧水を採水してEC，pH，CODを測定し，それらにもとづいて宮古島の地下水流動について考察した。塩害の調査では，はじめに台風襲来前後の衛星画像を用いてNDVI値の変化を求め，台風襲来後に植物活性度が低下することを明らかにした。それをふまえて島内の30カ所で土試料を採取してそのEC値を測定した。そして，EC値の分布と卓越風向・強度との関係から海塩粒子の輸送について考察し，島のどこで塩害が生じやすいかを明らかにした。
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版30枚程度のレポートにまとめる。



◎桐越

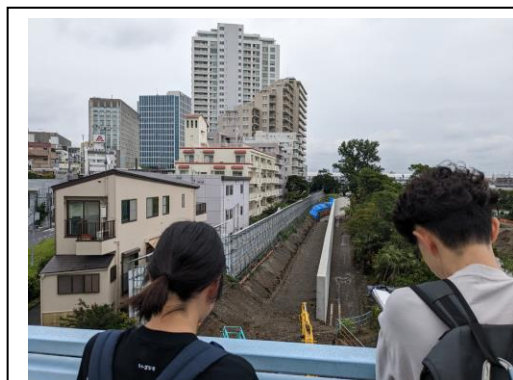
- 実施地：大阪府柏原市周辺
参加学生数：10名（男子10名）
テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う
内容例：柏原市における音楽実践とその受容，柏原市のブドウ・ワインのブランド化と認知，柏原市における農地管理，柏原市における観光とイメージ形成，柏原市亀の瀬の日本遺産登録と観光の関係，柏原市と香芝市の人口動態と宅地開発，宇治市におけるコンテンツツーリズムの実態，コロナ禍後の大阪市大正区の変容，大阪市生野区のエスニック・ビジネスの実情，Jリーグの試合開催がヨドコウ桜スタジアム周辺地域に及ぼす影響。
課題：各自のテーマについて，『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



地理学野外実習D（2年生以上対象の選択科目）：日程はコースにより異なる

◎長谷川

- 実施日：6月3日（土）
実施地：川崎市高津区，東京都世田谷区の多摩川周辺地域
参加学生数：3名（男子2名，女子1名）
テーマ：2019年台風19号の被災地を巡る
内容：多摩川周辺で起こった内水氾濫による被災地を巡り，土地条件，地形や土地利用，河川改修を見学した。
課題：見学地の観察記録を10枚程度にまとめる。



長谷川コース：多摩川左岸（二子玉川）の無堤地域に建設中の堤防を観察する。

◎内田

- 実施日：11月18日（土）
実施地：神奈川県伊勢原市大山地区
参加学生数：5名（男子3名，女子2名）
テーマ：観光地のイメージの解説：
歴史的な宗教観光地大山の現在
内容：江戸時代には「大山詣り」として多くの観光客を集めた宗教観光地である大山および大山街道を訪ね，江戸庶民の信仰文化を体感するとともに，宗教景観と自然景観が，どのように観光と結びつけられているかを観察・調査する。
課題：「宗教・自然観光地の風景の特徴について」と「大山周辺と大山街道における「大山詣り」の意味」についてレポートをまとめる。



内田コース：大山山頂で

◎磯谷

- 実施日：10月21日（土）
実施地：三浦半島城ヶ島
参加学生数：6名（男子4名，女子2名）
テーマ：城ヶ島の地理—海岸植生を中心に—
内容：城ヶ島で特徴的にみられる地理的事象について，植生を中心に観察し，地理学的な観察方法の基礎を学んだ。具体的な観察項目は，地形面とその発達史，海岸植生の生態地理的系列とおもな構成種，陸上動物の生態地理，観光業と水産業，土地利用とその変遷などである。
課題：上記の内容を踏まえつつ，参加者各自の視点を重視したレポートを作成する。



磯谷コース：海岸植生がよく発達する城ヶ島南部の馬の背洞門付近にて

◎加藤

実施日：6月24日（土）
実施地：東京都品川区とその周辺
参加学生数：8名（男子6名，女子2名）
テーマ：工業地区としての品川とその周辺
－歴史と現在－
内容：テーマについて理解するエクスカージョン（現地見学）を行う。訪問先は以下のようなところ。光学通り／大井町駅付近／広町工業団地・工場アパート／大崎シンクパーク（ソニー大崎工場跡）／旧東海道／品川神社・富士塚／品川インターシティ／高輪・白金台地区
課題：エクスカージョンで学んだこと・興味あったことについて，レポートをまとめる。



加藤コース：オフィスになったソニー大崎工場跡

◎佐々木

実施日：5月20日（土）
実施地：東京都板橋区・北区
参加学生数：11名（男子6名，女子5名）
テーマ：武蔵野台地本郷台とその周辺の地形の観察
内容：武蔵野台地を流れる石神井川は，武蔵野台地に浅谷を形成し，かつては現在の北区・王子の飛鳥山の西側で南流して現在の東上野・不忍池付近に流れていたが，河川争奪によって飛鳥山の北側で武蔵野台地を侵食して東方に流れるようになった。こうした地形の配置を実際に歩いて体感するとともに，飛鳥山博物館では台地や沖積低地の地層の剥ぎ取り断面を観察し，この地域の地形の発達について考察した。また，JR板橋駅周辺では土地の起伏とハザードマップの想定浸水水位との対応を確認し，わずかな起伏の差が内水氾濫時の浸水水位に影響しうることを体感した。石神井川における洪水に対する様々な取り組みについても理解した。
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4用紙5枚程度のレポートにまとめる。



佐々木コース：石神井川の河床を観察している様子

◎桐越

実施日：5月27日（土）
実施地：東京都中央区 築地駅および新新橋駅周辺地域
参加学生数：15名（男子9名，女子6名）
テーマ：GPSを用いたトラックデータの取得方法とGPSのデータを地図上に表示させる方法を知る
内容：東京都中央区，築地周辺地域においてGPSを用いた測定をおこない，自らの歩いた道筋を地図に表した。また，外国人居留地跡や海軍発祥の地などを回り，築地駅周辺地域の歴史の変遷に関する解説をおこなった。GPSのデータから，各班の報告と行動ルートと比較して分析し，レポートを作成した。
課題：GPSの計測結果をGoogle Earth上に示すとともに，調査内容にもとづいたレポートをまとめる。



桐越コース：実習終了後の集合写真

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2024年3月上旬に開催）で発表してもらいます。発表者は2月9日中に決定し、すぐに通知する予定です。また、優秀な卒業は国土館大学地理学報告に修正の上、掲載してもらおう予定です。これも2月9日中に決定し、連絡します。

日時：2024年2月 7日（水）、8日（木）、9日（金） 9:05～
場所：世田谷校舎 10号館 2階 10212教室

注意事項（4年生はよく読んでおくこと）：

※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）です。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となります。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。

※ 発表に際しては、必ず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメの文字部分は基本的にワープロによって作成のこと。図表等のタイトル・注は同。図表ははさみと糊で切り貼りしても構わないので、鮮明に見えるようにすること。

1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないようにするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジュメの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピーのこと）。図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと（発表時の図表の不鮮明さが評価を下げる・減点につながることもあるので注意のこと）。
3. レジュメは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、まず教員に配ること。各日の朝一番目の発表者で、責任を持って依頼できる学友がいる人は、前日の最終発表者のレジュメ配布を学友に頼んでも構わない（ただし問題があれば責任は依頼した人にあるので、注意のこと）。
4. レジュメの文章をそのまま読むような発表は控えること。口頭試験用の発表原稿を別に用意して、発表することが望ましい。

※ 発表では、パワーポイントも使用できる。使用するパソコンは原則として教室備え付けのパソコンを使用すること。発表用ファイルは、午前に発表の者は発表当日の朝、午後に発表のある者は昼休みにパソコンのデスクトップにコピーしておくこと。発表時にUSBメモリー等から起動すると、手間取るケースが多い。自分のPCにケーブルを差し替える場合も同様である。それらの時間も発表時間に含めるので、あらかじめ用意のPCにコピーしておく方法で行うこと。

※ 地域調査士の資格取得に向けては審査前事前請求制度があり、3月中に認定証を受け取ることができます。資格取得希望者は、1月末（以降）に日本地理学会資格専門委員会から郵送される書類を熟読し、同封されている申請書に必要な事項をすべて記入のうえ（顔写真も必要）、口頭試験日程期間中に主査へ提出すること。その後、副査が記名・押印し、一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。

※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、出席して複数のセッションを聞くようにすること。1, 2年生も感染症対策に留意しつつ半日程度以上は出席のこと。入場前の手洗いなど、感染症対策を徹底のこと。なお換気のために暖房等が十分行き届かない場合もあるので、防寒にも留意しておくこと。2年生にとっては3年以降の専門分野（ゼミ）の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。

【2023 年度卒業論文公開口頭試験日程】

氏名	題目	主査	副査	地調	GIS
2月7日(水) 9:05~12:10 <進行:磯谷>					
小松 海聖	地方の鉄道における地元住民からの認識 ー銚子電鉄と JR 総武本線・成田線を事例にー	加藤	内田	○	
萩原 龍斗	神奈川県横須賀市におけるコンビニエンスストアの立地地点と取扱商品	加藤	内田		
畠山 敬多	地域鉄道の現状と課題ー滋賀県近江鉄道を例にー	加藤	佐々木		
大森 雄義	温泉施設の立地特性と廃業後の土地利用ー広島県広島市を例にー	加藤	内田		
遊佐 恵多	北関東におけるビジネスホテルの立地特性	加藤	内田		
西原 直哉	収穫体験型観光農園を実施する農家の経営実態 ー神奈川県湘南地域における「イチゴ狩りを事例に」ー	内田	桐越	○	○
中山 英明	神社周辺住民にみる信仰形態の差異 ー群馬県伊勢崎市小泉町小泉稲荷神社を事例にー	内田	桐越		
内木 史也	2005~2024 年における店舗別, 都道府県別にみた百貨店の立地変化	内田	加藤		
國末 悠真	デザインマンホールに用いられるモチーフとその地域性	内田	桐越	○	
岡本 悠佑	世界遺産登録に関する住民意識について ー「古都鎌倉の寺院・神社ほか」を事例にー	内田	桐越		
12:55~15:30 <進行:加藤>					
高見 青吾	「インスタ映え」する風景画像の特性ー鎌倉市の観光地を事例にー	内田	桐越		
塚原 寛之	横浜 DeNA ベイスターズのイメージと横浜のイメージとの関連性について	内田	佐々木		
永田 翔大	歴史的町並みの景観保存と住民意識 ー栃木市嘉右衛門町重伝建地区を事例としてー	内田	桐越		
田中 良憲	神奈川県愛川町におけるエスニックビジネスの分布と展開	内田	加藤		
小林 竜也	経営移管後の第三セクター鉄道の利用促進とマイレール意識の醸成ーえちごトキめき鉄道を事例としてー	桐越	加藤	○	
越場 勇斗	プロ野球独立リーグの一球団の事業構図とスポンサー企業との連携ー神奈川フューチャードリームスを事例にー	桐越	佐々木		
海老澤 桃菜	地域資源の活用とリノベーションまちづくり ー埼玉県草加市を事例にー	桐越	磯谷	○	
森山 愛	飛騨高山における朴葉味噌の商品化と流通ネットワーク	桐越	磯谷	○	○
15:45~17:55 <進行:佐々木>					
小泉 敦哉	長野県におけるコワーキングスペースの立地展開	加藤	桐越	○	
中西 広大	川口市におけるスーパーマーケットの立地展開	加藤	内田		○
北澤 太智	函館本線廃止に伴う余市町とその周辺地域への影響	加藤	内田		
飯島 麻奈美	東京都新宿区戸山二丁目における都心の限界集落と世帯構成の変化	加藤	磯谷	○	○
伊佐 凜太郎	旭川市における家具産業の縮小と現況	加藤	桐越		
鈴木 遥斗	東京都における風俗宿泊施設の立地分析 ーJR 山手線駅周辺エリアを中心としてー	加藤	磯谷	○	○
山海 世鼓	茨城県つくば市におけるカフェ・喫茶店の立地展開	加藤	内田	○	○

2月8日(木)

9:05~12:10 <進行: 桐越>

関根 康介	千葉県印西市における中・大型哺乳類の分布と獣害対策	磯谷	佐々木		
小林 丈留	手賀沼流入河川魚類群集の分布と環境条件	磯谷	長谷川		
田島 規覇也	千葉県栗山川中流域の湿地群における訪花昆虫群集とその環境条件	磯谷	佐々木	○	○
本多 剣士	茨城県中南部における海浜植生の成帯構造とその変遷 -とくに東日本大震災前後に着目して-	磯谷	長谷川	○	
関野 寛太	荒川の変遷 1976年~2022年を比べて	佐々木	長谷川		
向井 達哉	江戸川区の土地利用と水害対策の歴史	佐々木	長谷川		
平本 亜由香	日本の長期的な気温の変動について	佐々木	長谷川		
大橋 一真	土砂災害被害建物の建築年代の分布と土砂災害警戒区域の相関	佐々木	長谷川		
堀野 滉朗	甲府で発現した強風について-周辺地域にも着目して-	佐々木	長谷川		
奥山 椋太	千葉県勝浦市と鴨川市における夏季の気温特性	佐々木	磯谷	○	○

12:55~15:30 <進行: 佐々木>

青木 悠	近年の韓流ブーム下での「新大久保コリアタウン」の変容とSNSの関連性	桐越	長谷川		
葛西 智哉	女性向けファッション雑誌と街のイメージの関係性について -渋谷を例に-	桐越	内田		
大澤 美帆璃	高輪ゲートウェイ駅開設に伴う駅周辺開発が土地利用変化に及ぼす影響	桐越	加藤	○	○
齊藤 大己	戸田市における認可保育所の分布特性	桐越	加藤		
千葉 柁英	神奈川県鎌倉市におけるコインパーキングの立地展開と料金設定	加藤	内田	○	○
長谷川 裕亮	東京都大田区における飲食店の立地展開	加藤	磯谷		○
島 颯斗	JR北海道 函館~札幌間における鉄道変遷 -時刻表検証を用いて-	加藤	内田	○	
鈴木 舜也	下北沢の古着屋の立地展開と特性	加藤	桐越		

15:45~17:55 <進行: 加藤>

綾部 勘太	着地型観光を通じた景観保存と住民意識-茨城県桜川市真壁町を事例として-	内田	桐越		
花谷 将基	プロ野球来場者の購買行動における消費金額と属性との関係-エスコンフィールド HOKKAIDO と神宮球場を事例に-	内田	桐越	○	
山口 舞緒	東京(池袋), 名古屋(椿町), 大阪(日本橋)における趣味の商業集積の特徴と店舗の分布について	内田	長谷川		
大橋 鋼	多摩丘陵における大規模宅地造成 -時間的・空間的の変化に着目して-	長谷川	佐々木		
石井 暖人	カラスと共に築く持続可能なごみ管理 -東京都国立市富士見台団地と谷保地域を例に-	長谷川	磯谷		
串田 紘一	土地被覆が水質に与える影響について -利根川水系大堀川・大津川を比較して-	長谷川	磯谷	○	○
内倉 彩希	空中写真を用いた海岸線の変化抽出 -5つの地域の砂浜海岸に着目して-	長谷川	佐々木	○	○

2月9日(金)

9:05~12:10 <進行: 桐越>

奥澤 瑛実子	土砂災害危険箇所の曝露人口の推移ー鳥取県を例にー	長谷川	磯谷	○
松下 将宗	微地形が河川の氾濫による浸水に与える影響ー雄物川を例にー	長谷川	佐々木	○ ○
村河 希望	千葉県東部夷隅地域における海食崖侵食に関する研究	長谷川	佐々木	○ ○
長谷川 拓海	完新世荒川扇状地の発達過程の追跡 ーメッシュマップを用いた解析ー	長谷川	磯谷	
落部 功大	ウクライナ・カホフカダム決壊に伴う浸水被害と農業への影響	長谷川	磯谷	○
古村 光世	長野県飯山市戸狩温泉スキー場における積雪と気象条件からみた雪崩の発生	佐々木	長谷川	○ ○
渡辺 康太	霞ヶ浦の湖風が茨城県土浦市の気温分布に与える影響	佐々木	磯谷	○ ○
長島 あんり	千葉県の地域別に見る降水特性	佐々木	磯谷	○ ○
関根 駿太	温暖化が及ぼす台風と生物季節の関係 ーエルニーニョ・ラニーニャ現象に着目してー	佐々木	磯谷	○
大辻 寛也	複数要素から分析した斜面崩壊の特徴について ー令和元年台風19号における宮城県丸森町を事例にー	佐々木	長谷川	

12:55~15:40 <進行: 内田>

長島 由香	樹木の生育の違いから評価する微地形ごとの地表環境や地形プロセス	佐々木	磯谷	○ ○
會澤 智弘	GISを活用した神奈川県と東京都の潜在的な水害脆弱地域の抽出	佐々木	長谷川	○ ○
井上 輝星	埼玉県久喜市鷺宮地区における屋敷林の分布とその変遷, 構成樹種, 及び住民意識について	佐々木	磯谷	○
田口 滉太	東京都葛飾区の江戸川付近におけるアブラコウモリの分布と環境条件	磯谷	長谷川	
井田 海斗	埼玉県都幾川における河辺植生とその環境要因	磯谷	長谷川	
上田 恒太	神奈川県海老名市における怪異と地蔵の分布および境界性	桐越	内田	○ ○
西山 真由	神戸における多文化共生の変遷 ー雑居地内の宗教施設に着目してー	桐越	加藤	
伊藤 心	地域振興における朝市の位置づけ ー「葉山マーケット日曜朝市」を事例にー	桐越	加藤	
吉田 太郎	池袋チャイナタウンにおける旧・新華僑のエスニックビジネス ーコロナ期間を通じた変化に着目してー	桐越	磯谷	○

注. 地調: 地域調査士取得希望者, GIS: GIS 学術士取得希望者

【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

地理学教室ではニュースレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード



フェイスブックのQRコード



インスタのQRコード